



大地と、緑と、風と、腰を据えて向き合いつづけている。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

自然
izen
A s o C i t y

手つかずの自然、ということばがあります。
あたかもそれが自然を大切にすゝる金科玉条のごとく
言われることもあるけれど、そうではない。

人が関わっていないと、自然は朽ちて姿を消してしまう。

大事なのは、その関わり方なのだと言部直美さん。

筋金入りの自然派、腰を据えて大地と緑と風と、

つまり地球と向き合ってきました。

植物生態学専攻の修士であり、

旧建設省（現国土交通省）で都市公園の造園に携わり、

アイルランドやアメリカで学んできたすえ、

二度は来てみたかった「阿蘇に活動フィールドを定める。

牛との長い歴史がある草原の、その奥深さに惹かれています。

自然公園財団 阿蘇支部

木部直美

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。